

県議選候補者アンケート回答 下

◎鹿沼市 ◎佐野市 ◎矢板市 ◎下野市 ◎那須塩原市・那須町
届け出順。氏名、年齢、政党、丸数字は当選回数
政党は、自＝自民／立＝立憲民主／公＝公明／共＝共産／維＝維新／参＝参政／無＝無所属。現は現職、元は元職、新は新人

政務活動費について、全国都道府県議会ではインターネット上で領収書を公開している、または公開予定の議会が23カ所あります

問1

政務活動費について、栃木県議会もネット上で領収書を公開すべきだと思いますか。

問2

県議会の定数や選挙区割りを見直すべきだと思いますか。

問3

性の多様性への理解促進を図る条例案について、今後はどのような展開が望ましいと思いますか。

問4

最も重視する県政の課題を1つ挙げ、その理由や取り組みたい政策を教えてください。

鹿沼市（定数3－4）

湯澤 英之
無 現 ① 53歳

どちらとも言えない

この制度の充実度をみてもからの判断をしていきたい。

どちらとも言えない

人口減少の中、適当数はあると思う。地方議員の責務を検討し、県民の声を聞く体制をつくるべきと思う。

その他・無回答

十分に理由を確認し、制定に向けた活動をしていきたい。

人口減少対策に取り組みたい。育てやすく、住みやすく、安心できる県であり続けるために。

神谷 幸伸
自 元 ⑤ 69歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収証のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

少子化対策。現役世代が支える社会保障制度が存続困難になる。子どもを産み育てやすい環境整備の施策。

松井 正一
立 現 ④ 57歳

公開すべきだ

県議会は既に情報公開を議会事務局の所定の場所で公開しており、同じものをネット上で公開すべきと考える。

見直すべきだ

国勢調査等のデータに基づく選挙区定数並びに1人区の解消に係る見直し。

内容を再検討した上で制定すべきだ

条例案に関する県議会内部での議論が乏しい。全ての会派や1人会派の皆様の見解も網羅して案を作成すべき。

農林業分野の人材育成確保。新規就農者、林業大学校をはじめ農林業分野の計画的な人材育成確保が急務。

小林 幹夫
自 現 ⑤ 69歳

どちらとも言えない

第三者による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書のHP公開については、改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

物価高騰対策。原油価格、物価高騰等の急激な変化にも柔軟に対応できる政策を立案し、国にも強く要望する。

佐野市（定数3－4）

岡部 光子
自 現 ① 59歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要。国に動向を注視しながら本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

災害に強い街づくりを進め道路河川を更に整備。森林・治水の根本的対策を進め県民の安心安全を守り抜く。

早川 桂子
自 現 ③ 67歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会で使途の透明性の向上に努めている。領収書のHP公開については改選後検討の予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国政調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の法整備等を注視しながら条例化に向け議論を進める。

少子化対策であり、女性の雇用を生む企業を積極的に誘致し、出産子育て、教育や医療関係の環境を整える。

井川 克彦
無 新 66歳

公開すべきだ

県民の税金で賄われていること、調査研究その他の活動に関し議長による透明性の確保が法規定されたため。

現状維持すべきだ

報告書により現行では適正と判断する。今後の人口動態も重要だが地域の声が反映され難い政治は避けたい。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は大切。それと同時に性の区別が必要となる公共施設使用など検討すべき課題がある。

県央県北集中から県南に向けた施策推進により、北と南でバランスの取れた県民のための政治を実現させたい。

横田 誠
無 新 46歳

公開すべきだ

市議会議員の頃も市議会の収支報告にて領収書を公開していましたので、公開することが適切であると考えます。

現状維持すべきだ

県議会運営や県議の職務の詳細について把握できていない現状では判断が難しいので検討会の意見を尊重したい。

内容を再検討した上で制定すべきだ

条例制定の背景から制定の意義はあるものと思う。制定に至らない理由に基づいた再検討をすべきかと考える。

最重要視は少子化。対策として出生率の向上と若者の転出超過解消に資する教育政策、産業政策に取り組みたい。

矢板市（定数1－2）

青木 克明
無 現 ④ 70歳

どちらとも言えない

公開のあり方を検討し、透明性を高めていく事を目指していくべきと考える。

見直すべきだ

定数を削減するべきと考える。区割りにについては、市町の考え方を尊重し、検討すべきと考える。

その他・無回答

LGBTの人たちの理解を促進するための、条例は必要と考える。多様性を理解し適切に向き合うことが重要。

子育て支援。どこに住んでも安心して、子育てができる支援に取り組む。助成金の充実が重要。

藤田 欽哉
無 新 47歳

公開すべきだ

政務活動費は、公金から支給されるものであり、使途はつまびらかにすべきである。公開は当然であると考える。

見直すべきだ

定数削減に賛成。区割りは人口割ではなく、地域性を考慮しながら行うべき。1人区の解消にこだわりはない。

内容を再検討した上で制定すべきだ

制定すべき。さらに踏み込んで、カミングアウトの強要やアウティングを禁止する旨も明文化すべきである。

人口減少・少子化対策。活力ある栃木県創造のために、子どもを産み育てやすさ日本一を目指す。

下野市（定数1－2）

高山 和典
自 現 ② 57歳

どちらとも言えない

改選後、検討予定。

どちらとも言えない

国勢調査等の結果を参考にしながら、検討を行う必要があると思う。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要。国の動向を注視しながら理念の条例化に向けての議論が必要。

人口減少対策。「選ばれる栃木」に向け、部局を超えた総合的な取り組み。

田仲 進
無 新 67歳

公開すべきだ

公費の使い道を公開するのは当然である。

どちらとも言えない

単純に人数だけで区分けするのは問題だが、人口を加味しないのも無理がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

基本的人権の見地から、多様性を尊重するのは当然のことである。

格差是正。現在の所得格差は諸々の問題を生み出している。少子化、生活苦など。安心して暮らせることが第一。

那須塩原市・那須町（定数4－5）

相馬 政二
無 現 ③ 66歳

どちらとも言えない

今後の継続課題として議会内で検討する必要があるが、現段階ではどちらとも明確には言えません。

見直すべきだ

定数や区割りの見直しが必要である。

内容を再検討した上で制定すべきだ

更に多角的な視点で再検討し、かつできる限り実効性のある内容に変更して制定する必要がある。

人口減少問題。基本的には国が主体的に取り組むべき課題であるが、県としても何らかの施策が必要である。

小林 達也
自 現 ① 55歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保しているが公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

人口減少問題解決には農林畜産、商工業、観光産業の活性化が必要。地域経済の持続的な発展に向けて取り組む。

土屋 晃子
立 新 55歳

公開すべきだ

栃木県議会は議会事務局で閲覧できるようになっているので、ネット上でも見られるようにすべき。

どちらとも言えない

現状がよくわからないので、現段階ではどちらとも言えない。

内容を再検討した上で制定すべきだ

もう一度、しっかりと議論した上で再検討すべき。

少子高齢化問題。安心して結婚出産育児ができる環境作りと各年代が意欲能力を活かし活躍できる社会づくり。

阿部 寿一
自 現 ④ 68歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保。領収書のHP公開については改選後に検討予定。

どちらとも言えない

定数並びに選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

カーボンニュートラルの実現。2025年までに達成するためにはあらゆる分野で本気で取り組む必要がある。

関谷 暢之
自 現 ③ 60歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

とちぎ新時代へ。人口減少、DX、GX、食料・経済安全保障等に対応した持続可能で発展性のある栃木県を。